

広報

やすらぎ

No.97 令和2年3月15日発行

バリエーション豊かな作品 沢内中学校雪像づくり



灯籠は1年生が担当

積雪不足で例年通りの開催ができるか、直前まで心配していた沢内中学校生徒の皆さんによる雪像作り。予定していた2月6日の前夜に大雪が降り、当日はすっかり西和賀らしい景色となりました。午前中は暖かい日差しもあったのですが、作業が始まる午後にはまた雪模様となり凍える寒さ。それでも参加してくれた



生徒を見守る利用者の皆さん

一、二年生の皆さんは、時々笑い声を上げながら楽しんで制作しておりました。そして窓から見守るぶなの園利用者の皆さんの表情もほっこり。眺めているうちに雪像や雪の灯籠がどんどん仕上がっていきました。二年生は中庭に積み上げた雪で立体的なネズミやかわいいミッキーマウスの顔など、そしててっぺんには立派な富士山の出来上がり。一年生は県道までの道沿いに数多くの雪灯籠を、カラフルに色付けしながら作っ



完成した雪の作品を囲んで♪

てくれました。薄暗くなった頃にはろうそくに火を灯し、美しい雪灯りを堪能。生徒の皆さんの気持ちが伝わる温かい灯りでした。



着々と仕上がってきました

より美しく華麗に

年に5回程度開催している華道教室。2月10日(月)は、今年度最後の教室となりました。この日の花は、フリージア、カスミソウ、スプレー菊、レモンリーフ。高さもまちまちな花たちを、講師の佐々木エリ子さんのアドバイスを受けながら活けていきます。あまりにも大胆にハサミを入れる先生に少し戸惑いながらも、「こっこの向きがいいかな」、「この葉っぱは切った方がいいかも」と思い思いに楽しみながら仕上げておりました。それぞれ特徴ある作品が出来上がり、満足気の皆さんでした。

デイサービスがたくりの園



共同作業で完成

2月8日の雪あかりに向けて1週間前から作業に取りかかりました。今年は例年より少ない雪を集めることから始めなければならず、いつもと違う大変さがありました。ネズミの目や耳の位置を決める時に「ここでいいべが?」と確認すると「それだばダメなんだ〜」と利用者さんから有難いアドバイス。共同作業でなんとか完成させることができました。今年は実施できるかどうかすら心配された雪あかり。規模は小さくても思いを込めた光をろうそくに灯すことができてよかったです。



紅賀川



総括施設長 佐々木 一

■マスクに続いてトイレトペーパーが売り切れ。ティッシュや消毒用アルコール製品まで、店の棚はどこに行っても空っぽで「売切」の表示。2月末のことである。マスクは新型コロナウイルスの感染状況を連日報道している。インフルエンザによる死亡は昨年3,252人と言われ、新型肺炎はそこまで至っていないとの報道もある。しかしいつ地域に広がるか、いつまで続くのか未知であるがゆえに不安が先行する。我々施設サービスの現場では、サービスを停止することはできない。万が一職員に感染しても、利用者の生活援助の責任は残るだろう。食料や日用品の備えも十分とはいえず、防資材も不足する中で、利用者の生活をどう守れるか、法人としての対応にも不安は尽きないが考えられるすべての対応策の検討が急務である。まずは家族を含め、できるだけ不要不急の外出を控え、手洗い、うがい等に取り組み、見えないウイルスの侵入を防がなければならない。

社会福祉大会で表彰

2月15日に開催された西和賀町社会福祉大会において、やすらぎ会の高橋義雄監事が表彰を受けました。監事として法人の経営を永年にわたり支えていただいたことは、町の社会福祉向上にも寄与する大きな功績です。心より感謝とお祝いを申し上げます。



表彰を受ける高橋義雄監事

みかん風呂、ゆず風呂、レモン風呂。浴槽にひと工夫を加えて普段と違う入浴を楽しんでいただくシリーズ企画が今年も実施されました。今年なんと「ワイン風呂」。浴槽に本物のワインを少量注ぐと、ほのかな香りが浴室に漂いました。周りにはキャンドルを並べて雰囲気もバッチリ。「気持ちよくて眠ってしまいそう」と、うれしい感想もいただきました。



ほのかな香りでリラックス



鬼はそと! 福はうち!



利用者さんの容赦ないマメ攻撃

2月3日は節分、ぶなの園では男性職員が鬼に扮し、利用者皆さんの豆まきをしていただくのが恒例となっています。投げやすいように4〜5個ずつラップで包んだ落花生を持ってスタンバイ。うなり声を上げながら金棒を持った



たまらず退散...

鬼が2体現れると「鬼はそと」と叫びながら投げつけておりました。節分の鬼とは「災いをもたらす悪いもの」を目に見える形にした姿だそう。利用者の方々にすべて追い払ってもらったので、今年も1年間、笑顔で過ごすことができそうです。

久々の着物にうっとり

職員のアイデアと特技で企画する『クラブ活動』。その一つとして二部式着物(上下分かれている着物)を着付けての写真を撮影を1月29日に行ないました。車イス中心の生活になり、何年も縁がなかった着物を目の前にすると一瞬で乙女の顔に。二着から好みの着物を選んで元美容師の職員に着付けてもらうと、晴れ晴れとした表情でポーズを取っておりました。成人式の時の思い出話なども飛び出し、活気あふれる活動となりました。



きれいに着付けてもらいました

ワイン風呂でほろ酔いの気分



令和2年1月1日～2月29日

あたたかい善意を頂戴し

厚くお礼申しあげます

【ご寄付】

・蛭坂泰宏様

【ご寄贈】

・野中サダ子様

【ボランティア等】

・佐々木エリ子様
・高橋セツ様



あしあと

法人の主な動き

【1月】

- 1日 おせち調理
- 6日 特養新年交賀会
理事長年頭挨拶
- 7日 出張理容
- 15日 小正月行事
- 17日 かたくりAED講習会
- 25日 広報やすらぎ発行
- 28日 かたくりサロン事業
- 29日 法人内部監査

【2月】

- 3日 節分豆まき
恵方巻メニュー
- 4日 出張理容
- 6日 沢内中学校雪像づくり
雪あかり
- 8日 特養第三者評価委員会
出張理容
- 13日 葛巻社協支援ハウス視察
- 17日 在宅第三者評価委員会
出張理容
- 18日 かたくり第三者評価委員会
- 19日 葛巻社協支援ハウス視察
- 21日 在宅第三者評価委員会
- 25日 かたくりサロン事業

やすらぎ会ホームページ
最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪



<http://yasuragikai.com/>

募集しています!!
調理員・看護師
介護職員

(フルタイム、短時間パート含む)

年齢不問・意欲のある方・経験者優遇

まずは下記にお電話を

ぶなの園 総務課 (☎85-2322 佐々木まで)

編集後記

様々な催しが中止、延期になる中、東日本大震災追悼式も取りやめ。時季が重なるだけにあの時の混乱した日常の雰囲気がいささか、さらに式典が行われないうい決定に切なさだけが残ります。平穏な日々って貴重ですね。

やすらぎ会広報委員会

地下恵里子 渡辺まい子
高橋知英子 丹波りか
高橋 渉

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389

【発行・編集】 社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会